

特許庁
農林水産省 同時発表

2025 年 4 月 11 日



産業財産権制度 140 周年記念「内閣総理大臣感謝状」の被贈呈者 及び令和 7 年度「知財功労賞」の受賞者を決定しました

日本の知的財産権制度の発展・普及・啓発に貢献した個人及び知的財産権制度を積極的に活用した企業等を表彰する「知財功労賞」の令和 7 年度受賞者を決定しました。本年度は、農林水産大臣表彰、輸出・国際局長表彰を新設（本年度以降も継続）するほか、大阪・関西万博特別賞の表彰（本年度のみ）も行います。また、本年は専売特許条例（現在の特許法）が公布されてから 140 周年にあたる節目の年となることから、これを記念し、産業財産権制度の普及・発展に極めて顕著な功績があった企業及び同制度を活用し、地域経済の発展に極めて顕著な功績があった企業等に対し、「内閣総理大臣感謝状」の贈呈を行います。

1. 「知財功労賞」及び「内閣総理大臣感謝状」の概要

経済産業省 特許庁では、毎年、知的財産権制度の発展及び普及・啓発に貢献のあった個人に対して「知的財産権制度関係功労者表彰」、また、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献のあった企業等に対して「知的財産権制度活用優良企業等表彰」として、経済産業大臣表彰及び特許庁長官表彰を行っています。

また、令和 7 年度知財功労賞から、農林水産・食品分野において、知的財産権その他の知的財産を効果的に保護・活用し、事業経営の発展に顕著な成果を収めた企業等に農林水産大臣表彰及び輸出・国際局長表彰を行います。

さらに、令和 7 年度に限り、2025 年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という）の開催に際し、知的財産を活用した大阪・関西万博の機運醸成や大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と親和性が高い取組を行う企業等に対し、大阪・関西万博特別賞を表彰します。

これらの表彰を合わせて、「知財功労賞」と総称しています。

また、本年は専売特許条例（現在の特許法）が公布されてから 140 周年にあたる節目の年となることから、これを記念し、産業財産権制度の普及・発展に極めて顕著な功労や功績があった企業等、又同制度を活用し、地域経済の発展に極めて顕著な功績があった企業等に対し、「内閣総理大臣感謝状」の贈呈を行います。

2. 被贈呈者及び受賞者

内閣総理大臣感謝状を企業等 6 者に贈呈するとともに、経済産業大臣表彰として個人 2 名と企業等 7 者、特許庁長官表彰として個人 5 名と企業等 14 者を受賞者とし

した。また、大阪・関西万博特別賞として企業等 3 者、農林水産大臣表彰として企業等 1 者、輸出・国際局長表彰として企業等 2 者を受賞者としました。

■内閣総理大臣感謝状

産業財産権制度普及発展特別功労企業等（50 音順）

旭化成株式会社 [東京都]

株式会社 NTT ドコモ [東京都]

株式会社ブリヂストン [東京都]

産業財産権制度普及発展特別功労企業等（地域部門）（50 音順）

今治タオル工業組合 [愛媛県]

株式会社サタケ [広島県]

福井経編興業株式会社 [福井県]

■経済産業大臣表彰

知的財産権制度関係功労者（50 音順）

伊原 友己 氏 [三木・伊原法律特許事務所 所長 弁護士・弁理士]

田中 稔彦 氏 [金剛株式会社 代表取締役社長]

知的財産権制度活用優良企業等（表彰区分／50 音順）

古河電気工業株式会社（知財活用企業(特許)）[東京都]

株式会社リガク（知財活用企業(特許)）[東京都]

井原商工会議所（知財活用企業(商標)）[岡山県]

岡本株式会社（知財活用企業(商標)）[大阪府]

Heartseed 株式会社（知財活用ベンチャー）[東京都]

馬路村農業協同組合（デザイン経営企業）[高知県]

富士フイルムホールディングス株式会社（デザイン経営企業）[東京都]

■特許庁長官表彰

知的財産権制度関係功労者（50 音順）

石川 浩 氏 [持田製薬株式会社 知財担当理事・弁理士]

橘井 敏弘 氏 [正和電工株式会社 代表取締役社長]

櫻田 賢 氏 [櫻田特許商標事務所 代表]

別宮 智徳 氏 [日産自動車株式会社 知的財産部 シニアパートナー]

水野 博文 氏 [水野特許商標事務所 所長]

知的財産権制度活用優良企業等（表彰区分／50 音順）

株式会社ガイア環境技術研究所（知財活用企業(特許)）[宮城県]

キリンホールディングス株式会社（知財活用企業(特許)）[東京都]

グンゼ株式会社（知財活用企業(特許)）[京都府]
積水化学工業株式会社（知財活用企業(特許)）[大阪府]
株式会社坪田ラボ（知財活用企業(特許)）[東京都]
日華化学株式会社（知財活用企業(特許)）[福井県]
株式会社メトロール（知財活用企業(特許)）[東京都]
シヤチハタ株式会社（知財活用企業(意匠)）[愛知県]
株式会社カプコン（知財活用企業(商標)）[大阪府]
エイターリンク株式会社（知財活用ベンチャー）[東京都]
三菱電機株式会社（オープンイノベーション推進企業）[東京都]
株式会社カンディハウス（デザイン経営企業）[北海道]
錦城護謨株式会社（デザイン経営企業）[大阪府]
株式会社能作(デザイン経営企業) [富山県]

■大阪・関西万博特別賞(国際博覧会推進副本部長賞)

知的財産権制度活用優良企業等（50音順）

鹿島建設株式会社 [東京都]
株式会社金森合金 [石川県]
株式会社サイエンス [大阪府]

■農林水産大臣表彰

知的財産権制度活用優良企業等

株式会社サンファーマーズ [静岡県]

■輸出・国際局長表彰

知的財産権制度活用優良企業等（50音順）

有限会社綾園芸 [宮城県]
栃木県 [栃木県]

各受賞者の功績等は、[特許庁ホームページ](#)に掲載しております。

3. 表彰式

本年度の表彰式は4月中に開催予定としております。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 知的財産室長 小野

担当者: 山本、黒谷、鈴木

電話: 06-6966-6016(直通)

06-6966-6064(FAX)

《功労者表彰について》

特許庁総務部秘書課長 西森

担当者: 佐藤、関塚

電話: 03-3581-1101 (内線 2012)

メール: pa0110★jpo.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。

《内閣総理大臣感謝状及び企業等表彰について》

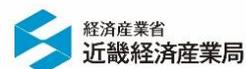
特許庁総務部企画調査課長 柳澤

担当者: 浦口、青柳、宮成

電話: 03-3581-1101 (内線 2152)

メール: pa02f0★jpo.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。



(参考)近畿経済産業局管内の受賞企業(企業概要、受賞のポイント)

※特許庁 HP 掲載資料を基に作成

●内閣総理大臣感謝状

福井経編興業株式会社

代表取締役社長 高木 義秀

企業概要

所在地：福井県福井市西開発3丁目519-3

設立：1944年

資本金：80百万円

従業員：81人

事業概要：経編生地製造(用途) 婦人・紳士外衣用、カーシート、水着、裏地、スポーツ外衣、その他・絹製人工血管の作成、心・血管修復パッチの作成、体圧分散マットレスシートの作成、吸音パネルの作成



先天性心疾患の治療に用いる心・血管修復パッチ



100%シルク製の人工血管



褥瘡予防の体圧分散マットレスシート



3D特殊構造のタテアミ吸音パネル(屏風型)

受賞のポイント

- ①福井市を拠点として、強みである経編技術を起点に大企業とオープンイノベーションを行い、中小企業である自社単独ではなしえない事業に進出。大企業と組むことで、リスクヘッジや早期の上市も実現。例えば医療分野では、帝人株式会社及び大阪医科薬科大学との共創により、患者の成長に応じて伸張する心・血管修復パッチを開発し、先天性心疾患を抱える子供の治療に貢献。
- ②市場のニーズに自社のシーズを組み合わせることでイノベーションにつなげる。ニーズを的確に捉えるために現場に足を運ぶことを重視。これによりニーズの把握だけでなく、人的ネットワークの構築にも役立つ。共創相手の開拓には、人的ネットワークに加え、メディア戦略も活用。自社への協業の声掛けが増加したほか、社員採用、自社のブランド化(ファンづくり)にも貢献。
- ③大企業との共創を成功させるにはトップのコミットメントが鍵と考え、必ずトップ同士の交渉を実施。共創においても、コア技術は極力自社単独の特許権として保有。また、リバースエンジニアリング可能なものは特許で守り、不可能なものはノウハウとして秘密管理。これにより、強みを守り、大企業との交渉力を確保している。

●経済産業大臣表彰



い はら とも き
伊原 友己

三木・伊原法律特許事務所 所長
弁護士・弁理士

功績概要

- 長年にわたり、日本弁護士連合会知的財産センターの委員長等の役職を務め、また平成17年4月の設立時より弁護士知財ネットの理事(現専務理事)として活動し、両組織の連携を図りながら積極的に牽引。数多くの知財関係著書の出版企画や国際知財司法シンポジウムも含めた種々の知財関係イベントに企画・関与し、農林水産分野も含め知的財産法の理論の深化と実務の発展に大きく寄与。
- 日弁連知的財産センターの委員長として東南アジア諸国における知的財産法や知的財産訴訟実務等の現地調査を企画・実施し、またミャンマーでは法務省及び特許庁の専門官らと共に知的財産法の整備に尽力。
- 産業構造審議会知的財産分科会特許制度小委員会での議論に関与し、職務発明制度の改正に貢献するとともに、長年にわたり知財分野の著書・論叢を多く執筆し、大学(院)生、企業の知財担当者、弁護士、弁理士など幅広い層に対して知財関係の講義を行い、知財人材の育成に貢献。
- 農水分野の知的財産制度の普及・啓発のため、基本テキスト発行を企画・立案し、「農水知財基本テキスト編集委員会」を組成。経済産業省、特許庁、農林水産省、内閣府知的財産戦略推進事務局、財務省(税関)、国税庁などの所管省庁等の各知財担当との連携を図り、論叢のとりまとめ役を担い同書の刊行に寄与して同分野の発展に大いに貢献。

企業概要

所在地：大阪市西区西本町一丁目11番9号
 設立：1948年
 資本金：97百万円
 従業員：504人
 事業概要：各種レッグウェアの製造卸販売（紳士・婦人・子供靴下、パンティストッキング、タイツ、編み技術を利用した関連商品）



代表商品「靴下サプリ」まるでこたつソックス



「靴下サプリ」まるでこたつソックス」関連登録商標群



代表商品「脱げないココピタ」「ココピタプラス さらっと実感」



「ココピタプラス さらっと実感」関連登録商標群

受賞のポイント

- ①「ブランド価値経営」を経営戦略として掲げ、知財を最大限に活用していく知財戦略を策定。顧客ニーズを満たす付加価値の高いオリジナル商品について顧客視点の商品名を作成し、商品名やブランド名に加えてブランドを象徴する商品特徴を表す文言や表示についても権利化することで、ブランドイメージを強固に保護する方針。
- ②例えば「ココピタ」シリーズでは、名称に加え、脱げにくい特徴を表す文言（「ピタ」、「コの字型ストッパー」等）や特徴の表示も商標登録。「靴下サプリ」シリーズの「まるでこたつソックス」では、「まるでこたつ」、「こたつソックス」等の文言や商品パッケージも商標登録。
- ③情報提供やパトロールにより発見したEC上の模倣品は、ECサイトに申請してWEBページ削除の対応を取っており、商標権に関わる削除件数は年間延べ約700件に及び。大手ECサイトとは業務提携を行い、侵害対応を簡易な手続きで行えるような関係を構築。また、商標に加えて特許・意匠も活用し、一つの商品を複数の知財で保護する知財ミックスにより、参入障壁を構築。模倣品の排除や商談での知財のアピールにより、売上拡大、価格コントロールに繋がっている。

●特許庁長官表彰

企業概要

所在地：京都府綾部市青野町膳所1番地
 設立：1896年
 資本金：26,071百万円
 従業員：1,449人
 事業概要：繊維製品（下着・レッグウェア等の衣類、糸など）、樹脂製品、医療機器等の製造・販売



アパレル事業：着心地にこだわった縫い目のないインナーウェアを展開



プラスチックフィルム事業：資源循環戦略を推進する守山サセキファクトリー*



メディカル事業：吸収性材料を用いた骨接合材等の医療機器を展開

受賞のポイント

- ①開発と知財のコミュニケーションや手続を効率的に行えるよう、各事業部門の開発責任者をDPO (Division Patent Officer) に任命。DPOは、出願の承認や侵害対応等、知財管理に関わる役割を担い、事業部における知財活動の要として活動。
- ②「プラスチック資源循環基本方針」の下、基幹工場である守山工場を資源循環型工場と位置付けて廃プラスチック排出ゼロへの転換を進め、環境保護と経済活動の両立を目指す。また、ナイロンとPET等の異種積層フィルムを分離・回収してフィルムにリサイクルする技術を重要特許テーマに位置付け、権利化を推進。
- ③事業に合わせた知財戦略を展開。アパレル事業では、生地構成や加工等の基本技術を特許で守りつつ、製品ごとに知財ミックスで多面的に保護。例えば「完全無縫製インナー」や「カットオフインナー」では、多数の特許・意匠を取得する一方、製造技術は秘匿。「完全無縫製®」や「カットオフ®」を技術ブランドとしても展開。メディカル事業では、知財ミックスに加え、薬事審査等の進捗に応じた出願時期の調整等も実施。骨同士をつなぐ吸収性体内固定用プレート及びスクリューは国内トップクラスのシェア。

知財活用企業(特許)

積水化学工業株式会社

代表取締役社長 加藤 敬太

企業概要

所在地：大阪府大阪市北区西天満二丁目4番4号
堂島関電ビル

設立：1947年

資本金：100,002百万円

従業員：26,929人

事業概要：住宅、配管材及び建築材、樹脂素材、医薬品



知的資本(研究開発・知的財産)



大阪万博 ペロブスカイト太陽電池設置



ペロブスカイト太陽電池 製造工程



G7 広島サミット ペロブスカイト太陽電池展示

受賞のポイント

- ①幅広い事業領域で培った技術を源泉として新市場・新領域の開拓に取り組んでおり、我が国発の次世代太陽電池として有望視されるペロブスカイト太陽電池の研究開発を牽引(2025年度上市予定)。特に屋根や壁面に設置しやすい「フィルム型」において優位性をもつ。
- ②事業化に向けたゲートレビューの中で知財観点のレビューを実施し、開発戦略、事業戦略、知財戦略を連携。知財戦略は、事業への貢献を見据え、市場、技術、知財の3つの視点から分析して構築。特許マップ等で見える化することで事業部門等と連携し、定期的に出願の位置付け、権利活用方針等を整理。これにより権利化して独占する領域や秘匿する領域等を見極め、開発テーマの状況に即した権利設計と投資対効果の最適化を図る。ペロブスカイト太陽電池においても、自社単独で特許権化や秘匿化する基幹部分と、協業との連携を前提とする付帯部分を見極めた知財戦略で、高いシェアの獲得を目指す。
- ③幅広い事業を展開する中で事業収益に貢献できる知財担当を育成すべく、知財面に加え、自身の能力を発揮したい分野(マーケティング、会計等)の知識を身に付けることを推進。

知財活用企業(特許)

日華化学株式会社

代表取締役社長 江守 康昌

企業概要

所在地：福井県福井市文京四丁目23番1号

設立：1941年

資本金：2,898百万円

従業員：1,531人

事業概要：1. 繊維工業用界面活性剤の製造、販売
2. 金属、製紙、塗料、染料、合成樹脂用界面活性剤の製造、販売
3. クリーニング、業務用洗剤の製造、販売
4. 化粧品・医薬品の製造、販売



自由闊達なMO-SOミレンジングから生まれたポリエステル繊維から染料を取り除く画期的な技術「ネオクロマト加工」



従来のフッ素系撥水剤に匹敵する撥水機能を発揮するフッ素フリー系耐久撥水剤「ネオシード」シリーズ



当社研究中核拠点であり、同業・異業種協業や産学官連携の推進拠点でもある「NICCAイノベーションセンター」(NIC・福井県福井市)



オープンなスペースが多く設けられ、社内外のメンバーが自然に交流できる環境が整っているNIC。組織や業界を超えた意見交換やアイデアの共有が促進されている

受賞のポイント

- ①国内外の顧客が自社技術を安心して利用できるよう、特許や商標を顧客の地域に幅広く出願。「グローバルニッチカンパニー」を標榜し、60の技術分野で少量多品種の戦略に対応すべく、分野毎の戦略に合わせた知財ポートフォリオ構築を推進。事業・研究・知財三位一体の連携を目指し、研究員の中から兼務で特許リエゾン14名を任命してコミュニケーションを円滑化。また、知財部門に市場調査や技術調査の専門人材を配置し、迅速な事業戦略立案に対応。
- ②知財を活用したビジネスの創出・拡大を推進。例えば染色されたポリエステル繊維から水を使わずに染料を取り除く「ネオクロマト加工」は、薬剤販売では事業化が困難であったところ、特許権のライセンスにより収益化し、創業時からの信条である「製品を売るにあらざって技術を売る」を体現。また、非フッ素系撥水剤「ネオシード」は、競合に先駆けて開発し、国内外で知財権を取得することで、グローバルに高いシェアを獲得。
- ③オープンイノベーションを推進する研究拠点として「NICCA イノベーションセンター」を開所し、同業種間・異業種間の協業や産学官連携を推進。また、社内研究部門間の共同研究にもつながっている。

企業概要

所在地：大阪府大阪市中央区内平野町三丁目1番3号
 創業：1983年
 資本金：33,239百万円
 従業員：3,531人
 事業概要：家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営



CAPCOM

「カプセルコンピュータ」の略称。遊びを詰め込むカプセルであると共に、侵害物品から外敵で保護したいという思いを込めている。



「モンスターハンター」シリーズ最新作のロゴ。グローバルで複数のゲームプラットフォームに展開するとともに、ゲーム以外の商品にも積極的に展開。



ワンコンテンツ・マルチユース例、映画 モンスターハンター。
 © 2020 Constantin Film Produktion GmbH
 © Constantin Film Verleih GmbH

受賞のポイント

- ①ダウンロード販売の強化により230の国・地域で290を超えるタイトルのゲームを販売（令和6年3月31日時点）。屋号を含む主要ブランドは100を超える国・地域で商標出願し、国内外で約6,000件（出願中を含む）の商標を保有している。
カプコンの事業戦略の一つとして、ゲームソフトで生まれた商標等の知財をグッズやサービス等に活用する「ワンコンテンツ・マルチユース戦略」を実施。本戦略に基づき、グローバルでの商標出願を実施することで自社やゲームタイトル等のブランド価値の向上及び企業価値の向上に貢献している。
- ②知的財産部はビジネス展開に伴い、幅広い分野で先読みしながら商標を登録。また、知財の保護に留まらず、知的財産部にて自社の知財を活用するアイデアを関連部署に提案。デザイン思考を組織に取り入れ、開発部門や事業部門等を顧客と位置付けることで、経営に貢献する次世代型知財部へのリブランディングを推進している。
- ③業者、顧客、社員から侵害物品の情報を収集し、年間で数千件の権利行使を実施。また、早期に商標のAIチェックを導入。ゲーム内のアセットをすべてチェックすることで、安心して開発できるサポート体制を構築している。

企業概要

所在地：大阪府八尾市跡部北の町1-4-25
 創業：1936年
 資本金：80百万円
 従業員：286人
 事業概要：
 ・工業用ゴム部品の生産・販売
 ・軟弱地盤改良工事（設計・施工管理）
 ・視覚障害者歩行誘導マットの製造販売・施工
 ・自社ブランド「KINJO JAPAN」での新製品開発事業など



一見ガラスのように見えるシリコンロックグラス（KINJO JAPAN E1）



力を加えて握るとグニャリと曲がるシリコンロックグラス



視覚障害者歩行誘導マット「歩導くんガイドウェイ」



歩導くんガイドウェイが車椅子の通行の妨げにならない様子

受賞のポイント

- ①「自分たちの技術に改めて誇りを持ちたい」という思いから自社ブランド「KINJO JAPAN」を立ち上げ。デザインは、ビジネスプロセスを整える手段であることに加え、企業文化から社会貢献までを考慮した総合的な概念であり、問いを通じて物事を本質から考えることと捉え、商品開発から組織開発まで、経営上のすべてに一貫してデザイン思考を取り入れている。
- ②「世の中の当たり前を変える」「社会に貢献する会社であり続けたい」との想いを持ち、クリエイターとインナーブランディングを行いながら商品開発。例えば、シリコンロックグラスでは、インナーブランディングにより、自社の技術力と素材を生かした他には無いデザインを目指して開発。また、視覚障害者歩行誘導マットでは、広く体感してもらい潜在ニーズを探索。車椅子等の通行を妨げないように表面をフラットにし、素材をゴムにすることで誘導路につきものの「つまづき」を解消。特許等も取得。
- ③新規事業に取り組む社員と他の社員との意識の乖離に気づき、組織改革に取り組む。社内改革プロジェクトを立ち上げ、歴史を紐解きながら社内インタビュー等を通して自社の存在意義を明確にし、行動指針を導く。

株式会社サイエンス

代表取締役社長 水上 康洋

企業概要

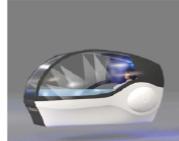
所在地：大阪府大阪市淀川区西中島五丁目5番15号
新大阪セントラルタワー北館5階

設立：2007年
資本金：30百万円
従業員：80人

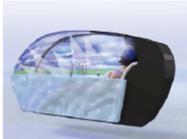
事業概要：ファインバブル製品の製造・販売及びメンテナンス
セントラル型浄水装置の製造・販売及びメンテナンス



ミライ人間洗濯機はカプセル状で上部が開閉



首からはミラバスの技術で、
首からはミラブル技術で全身洗浄



背中センサーで、気分に合わせて映像を
カプセル内に投影



現在の健康状況を可視化させ、カプセル内に投影。
毎日の入浴で健康状態のデータを蓄積する。

受賞のポイント

- ①工業用で主に使われていた気泡を民生品へ活用する方向へ発想転換し、微細な気泡を増加させて水流を与えることで汚れを浮かせて洗浄できる特徴を生かしてシャワーヘッド等を開発。泡と水流を生み出すコア技術は特許で保護し、「ミラブル」商標でブランド化する知財ミックス戦略を展開。ライセンスせず自社のみで製造することで、品質担保と技術流出を防止するほか、宇宙や介護など、多様な企業との連携にも繋がっている。
- ②更に、「マイクロバブル」と「ウルトラファインバブル」のISO化、JIS化にも参画し、言葉の定義や測定方法等を定めることにより、品質で劣る製品と差別化して、自社技術の優位性を確保している。
- ③大阪・関西万博では、大阪ヘルスケアパビリオンで、少量の水で洗浄できる「ミライ人間洗濯機」、「宇宙シャワー」等、ファインバブル技術を実装した様々な特許技術を展示し、環境、衛生、QOL等、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に資する技術を発信予定。1970年大阪万博の「人間洗濯機」との接続性や、大阪・関西万博関連の取組を定期的に公開するなど、大阪・関西万博の機運醸成にも貢献している。